

雪氷写真館⑦⑨ ロシア・アルタイ山脈の岩石氷河/
Rock glaciers in the Russia Altai Mountains

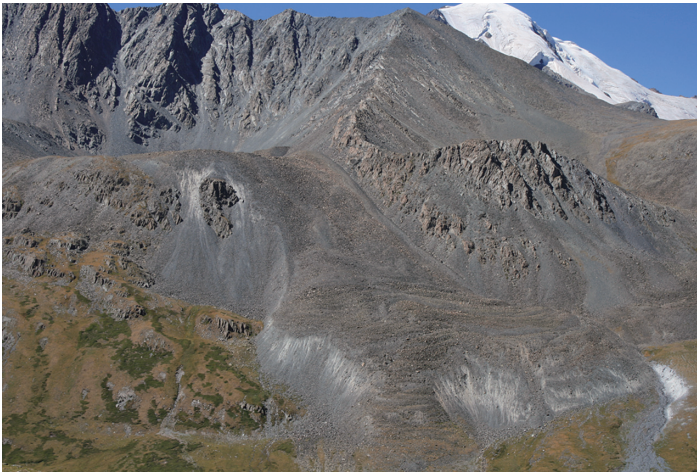


写真 1 小氷期のターミナルモレーンから発達する大規模な岩石氷河。長さは 1200m に達しており今回観察した中では最大規模のものだった。



写真 2 ラテラルモレーンから発達する岩石氷河。長さは 700 m.



写真 3 崖錐からのびる岩石氷河。崖錐から発達する岩石氷河も多数見られたが、長さ 200～300 m 程度の小規模なものが多かった。



図 1 ロシア・アルタイ山脈南チュイスキー山群の位置。アルタイ州立大学のあるバルナウル市から約 700 km 南に位置する。

ロシア・アルタイ山脈の岩石氷河

2008 年 8 月、ロシア・アルタイ山脈の南チュイスキー山群でもっとも南に位置するイエロンガッシュ谷にアルタイ州立大学地理学教室の研究者と永久凍土の予備調査に出かけた。イエロンガッシュ谷はアイスコア掘削が行われているソフィスキー氷河（藤井ほか，2000）のあるアッコール谷よりモンゴル国境寄りに位置する U 字谷である。

アッコール谷周辺は森林が成立しているが、この谷は非常に乾燥しており高木が全く見られない。また、完新世のモレーンは数列みられるが、現在の氷河の発達はあまりよくない。

アッコール谷周辺では標高 2000m 以上に岩石氷河が分布しているが（Fukui et al., 2007），この谷では標高 2400m 以上に岩石氷河が分布している。モレーンから発達している岩石氷河は大規模なものが多く、崖錐から発達している岩石氷河は小さいものが多いという印象を受けた。谷底にはアイスウェッジ・ポリゴンもみられることから永久凍土はこの谷のかなり広範に分布しているようだ。

文献

藤井理行・西尾文彦・亀田貴雄，2000：ロシア・アルタイ山脈ソフィスキー氷河における雪氷観測。雪氷，62，549-556。

Fukui, K., Fujii, Y., Mikhailov, N., Ostanin, O. and Iwahana G., 2007：The Lower limit of Mountain Permafrost in the Russian Altai Mountains. Permafrost and Periglacial Processes, 18, 129-136。

福井幸太郎 会員（立山カルデラ砂防博物館）

藤井理行 会員（国立極地研究所）